宝永新角力

五

へ遠山
1925
5上

明へ函13
1923
5上

○ 鼻子耳洗　左上

くつよりかたもとをとりあげて実体なるを認めるとて実体なるを認めるとて
ふかりや所くのも出ちゃんとふるはれく腐ひせいを
笑だかりで世ろあらびと笑ふもいりで世に出て来てハそのの
陳くよ友達とも洗の合を残もメーハきひろちで極
正ひとしいあ汗むをこ大よ板ニーて出のうけおくい
用前よ拾のり面けとその祝文の吳八子家屋と笑くも
ちがりかんをてあげて川だと下りて耳をひくふをを友達の

うち隣のむすこゞ又云ふなるべイやあち
のおぢゞ病をゆゞで菜屋(ゆけといふ)斗余りよ耳
う稼(けせん)る迄あらうのゞやと笑て彼を取りの裏ゝ抱をもい
ゞ取りてちやんさげて出てゆ下へ出てゆ汲てゆゞるを
コレこちらあらんゞ伺のまるゞ コレうせんゞくあちのあるぢよ
のまるのゞや

△ 當世ゞや

桶(おけ)そうもちやうめ祝の酒るりゞるの為旦那殿
の若の正いゞく毎度浄るうのゞまん女ゞのうのハはい

せうよゞ者ゞ者ゞ出おされてゞさりませよのうゞ者てまよ
と夜ゞ取りてきうそふと出えよ三ゞて二階へ行ゞれゞ女ゞハゞゼ
ひあく二ゞへあゞると上ゞ者ゞ者ゞ者

ドウ　女房もこの旦那もたしなありいざきおとしはいらん
ぢゃうくと息吹吹ぢ[illegible]ぢんと[illegible]ぢんが耳まはを出[illegible]
気づたいさうくとゆべいハイおもしろくるでおざりまん

○ 當月　場　大西

式ルボ運の出守出就ちゃとかだんあり因ハ入て　チトお
拍ヤ　ヒヒ　ヒヒ　ヒヒ

ゆく窪より出る所ろうりひそかよりひ付そこ言葉
おぼえあるかんけ方がたかくひと命をたとけつらし
さほどよい後悪心をあめて徐の人よあれやしと色び
よりさるを行てハイ為かくこぶりまん抜ーたちよ
とおいてまり向せう

○ 定 帳 常 流

行と格云清きそ及ゆメさう行をイヤイ アノナ 京の太仏
よおい帳をるげかめづらしいるでいあへカイ行をこれも抜へさ
ゆくるものどやマア行おどこで行て来さ イヤモものぞうと抜へ

いるとして格くるたてれぐ出さとふつうそんまくまこと
おいなハテナ あれい京の太仏の秋如おとこでやとお
りそていさまナ

△ 汐 墓 の 朝 住十

いりぬをハさろこよりやをふと抜んどさる仕流もたんとうのま
そこ敷はさきを抜めあをれコナ一ハ月をかげもない
乃公若おをそるもあろもをかけているものぐるふふかり
さめかしもせのりやそぎうきぐ大きる朝をおぐていさ
を汐墓さ及ぐいろくと変化をれてかさうあやけさ

きこゑ所陽の池おくめおされたるやきゝ屋さつ
さてれで今ときこ池のうをかかゝ為やけてまぐ所ゝの
とてゝ四ゝ出て八ツ出れたるまに出ものゝドヤナ

○長生の薬　玄圃

老ゝ者ゝ方ゝよりいろ〳〵物ゝ合中ゝ出者ゝ人ゝの出ゝ言ゝ八ゝ者ゝイ
ゝ四ゝ出ゝ出ゝ出

あるゑ乃ぬすて云ふ話あるゝ人多年ごけあのちまたといの
ものじやあらうと思ひ出ばそれ中より又近ごの志かへまれの人ゞ
いふ見たかるゞじやぼらうせの志ゝうさりあれまゝ
おもをおれう茶吟をまちなせうぞ

△ いんろう　　えび仙

ふるまひよいそ下戸のかほしさ大よめしを志ひう社苦し
ひほとの陰狂せんゝさあゝあんいうちゝより枕まんや
ふるまひよいてあを吟色てだりあびゝうぞ志のふなと
まくら　友達　それいだ西りかゝろゞそれいかのあで宮うあ

大せのおれゆゝあれどたちまちあをる茶やふと京流
の九ゝを出さるれがゝうんの男そうちてをうちゝさの
△愛の　献立　　瀬川

去れ西ゝ強欲ある志ゝんぼうの男ゝうある日友ゞちの
方ゝ来ておれゝ西ゝ尼さのあめを月ゝさゞ去ものよ鮫し
ゝれば去愛ゝ祝ゞゝ西ゝ志ゝ愛ゞゝうまそを
ゝ月ゝさゝるあれだゝるまゝ強ゝむゝ接ゞやそれで愛
ゝ茶ゝと鄭ゝて献立をかゝうゝ月てたりとゝ志おせゝ
トレとゝれのゝ月ゝれべむゝゝまゝとびのかゝのあゝそゝがゝ

とまこゝ多留侯之なまびる寄のれ屋がしおもしろのく
也ひなーつあ白はきの竹すりをばゝそゝイヤ〳〵そこ
を又一ト太ー越て山のかろう白粥の湖よもる寄ラ

五葉後

安永五丙申年正月二日新板

蹴

法乳の人乃懐かい孫おーぐろも
古まを紙和ひて貧撫芝居出
幕をや神ふ時芝居ちるりと

輯匹数元三百余の笑話
角力いそそよとかゝて色言れや
ゝそ留龍耳弘攫若需よ愚
く出こが白しを筆の出をゝ〳〵め
らし古きよと十八破色金筆弘貴
價よや法後せんを買惜ゝを云
ゝく 蹴とす 安尺舎五人

新清書之頃所八百屋町筋　高橋　茂兵衛

俗の内南北へ八百屋町へ入筋小橋　屋惣兵衛
天満橋下大わだし南つめ　山田屋久兵衛
俵屋町せんさんの木筋西へ入　大和屋弥兵衛
今出せんさんの木筋東へ入　堀屋三郎兵衛
曽根崎新地二丁目　九屋平兵衛
玄屋町さびさ町筋北へ入　大和屋吉兵衛
北浜小濱町角　海部屋勘兵衛
あとどのはじ西かいわ町南へ入　板木屋伝兵衛
内久宝寺町若町東へ入　板木屋平八

大坂

書林

板木細工人

御書物所　淡木町　淡川久義

御書物所

大坂谷町橋詰筋町
北丁東淡木町　淡川久義

興文鈔義板書目錄目録

肩板古 銀卜古 神易選	全	女筆初瀬川	三冊
投筭早卜筮	全	女國爽教艸	全
本朝人相考 信中本	三冊	女今川教文	全
本朝千字文 傳後世有	全	彩色畫選	三冊
志濃本朝千字文	全	故事義穂集	五冊
本朝古太平記 全卒冊 近刻		世間自慢新	五冊
中興武家盛衰記	十五冊	三手志新角力	五冊
小象五代実記	十冊	立春噺大集	五冊
分限玉の礎	全	富貴の地基	全
救病不邪秘方	全	役行者報恩経	全
住吉社細見張図	全	西国略打吹花	全
伊勢道中細目大全	全	小豆筋乃中九	全
さんの川系和漢	全		